

課題 1 次の文章を読んで、あとの(1)から(5)に答えましょう。

日本の食生活の変化に大きな影響を与えたもののひとつが、外食産業の発達だ。今では多くの家庭で、外食を利用している。最近では、値段も安くおいしいレストランが増えている。かく言う私も、大学での授業がある期間には、A ほとんど毎日、外食をしている。

もちろん、外食にも好ましい面はたくさんある。エスニック料理など世界の食文化を知って、食のバラエティが豊かになる。仕事や子育てで忙しい人の負担を減らして、個人が自分らしく生活する手助けにもなる。ときどき、家族や友人とレストランで食事をするのも精神的によいことだ。しかし、ほとんど毎日外食というのは考えものだろう。

外食にすると、どうしても栄養が偏りがちになる。カロリーの高いものが主体になって野菜不足になりやすい。しかも、とりわけ若者の場合、外食になると洋食主体になる。油をたくさん使ったファストフードが主体になる。そうになると肥満に陥りやすい。種々のビタミン、中でも緑黄色野菜にたくさん含まれるビタミンA、B群、Cが不足する。

外食以外にも、調理済みの総菜を買ったり出前を取ったりする中食も増加している。特に、近年はネットを介した出前サービスを利用する人も多くなっている。

店で売っている総菜などをうまく活用すれば、時間や手間をかけずに必要な栄養を補い、食事をより楽しいものにすることもできる。しかし、手軽さばかりを考えてしまうと、栄養バランスが偏り、生活習慣病のリスクが高まることになる。

必要な栄養素が不足すると、イライラしやすくなったり、精神的に不安定になったりする可能性もある。「健全な肉体と精神は、健全な食生活によって生まれる」という面もあるだろう。

また、B 現代の食生活の変化は、家庭内の人間関係や子どもの成長にも影響を与えることになる。家庭というのは、社会の基本単位だ。個人は家庭の影響を受けながら育ち、自己を形成していく。日々の食事は、人間にとって大切なコミュニケーションの機会でもある。

ところが、現在、家族とコミュニケーションをとりながら食事をする時間があまり取れないという人も少なくない。特に朝食についてはC その傾向が強い。2019年の農林水産省の調査によると、若い世代の男性の場合、家族と同居していても朝食を一緒に食べるのがほとんどないと答えた人が約4割にのぼる。

現代の日本では、共働きの家庭が増え、また長時間勤務をしている人も多いため、家族で食事をしたくてもできないという状況が生まれている。いわゆる「孤食」が問題になって久しい。さらには、仮に家族が揃っていても、個人がバラバラのものを食べる「個食」も増えていると言われる。こうした食事のあり方もまた、自分の好きなものしか食べなくなってしまうことにつながり、精神面でも栄養面でもマイナスの結果をもたらすことになる。

近年、働き方改革が社会的な課題になってきているが、D 食生活の改善という観点からも働き方を大きく変えていくことが求められる。また、後で述べる食育などを通して、食生活のあり方が人間にとっていかに重要な位置を占めるものであるかを考えていくことも必要だろう。

樋口裕一著『18歳から100歳までの日本の未来を考える17のキーワード』による

- (1) ― 線部「子」という言葉を使ったことわざを一つ考えて書きましょう。
- (2) ― 線部A「ほとんど毎日、外食をしている」とありますが、このような生活だとどのような問題が起こりやすくなると考えられるのですか。四十文字以内で説明しましょう。(「や。や」「」なども一字に数えます。)
- (3) ― 線部B「現代の食生活の変化は、家庭内の人間関係や子どもの成長にも影響を与える」とありますが、なぜ食生活が「このように影響を与えるのですか。四十文字以内で説明しましょう。(「、や。や」「」なども一字に数えます。)

- (4) — 線部 C「その傾向が強い」とありますが、「その傾向」とはどのような傾向ですか。三十字以内で説明しましょう。(「や。や」「」なども一字に数えます。)
- (5) — 線部 D「食生活の改善という観点からも働き方を大きく変えていくことが求められる」とありますが、なぜ食生活を改善するために働き方を変える必要があるのですか。七十字以内で説明しましょう。(「や。や」「」なども一字に数えます。)

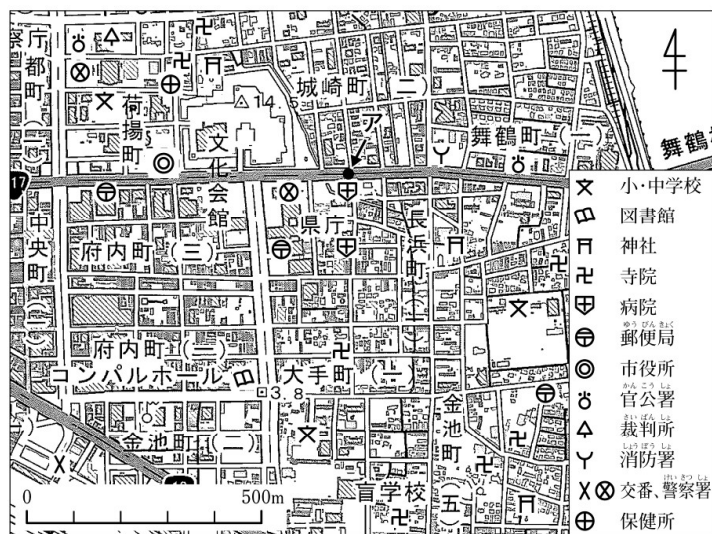
課題 2 ふだん人間にいたずらばかりしているきつねが、いたずらをした人間の母親を殺してしまったと責任を感じ、そのつぐないとして食べ物を経日のように届けていましたが、その思いは伝わらず最後には鉄砲で撃たれてしまったという話がありました。この状況をふまえて「思いが伝わらない」とがないう、あなたが生活の中で気をつけていることを二百字以内で書きましょう。(「や。や」「」なども一字に数えます。段落分けはしなくてよい。マス目から書き始めましょう。また少なくとも三文以上で書きましょう。)

課題3 きよしさんたちは、日本の食料生産について、調べ学習を行っています。あとの会話文を読んで、(1)～(3)に答えましょう。

きよし：今年は米不足が話題になっていたけれど、お米の生産について調べるのによい方法はないかな。

ひでみ：農家の人などに直接、話を聞いてみてはどうか。

まなぶ：農家の人に話を聞く前に、図書館で情報を集めて質問する内容を考えようよ。ぼくがこの地図を使って図書館までの道を教えるよ。



(国土地理院地図をもとに一部改変して作成)

(1) あなたがまなぶさんなら、どのように道案内しますか。次の条件をふまえて、右の地図中のアから図書館まで歩くコースを文章の書き出しに続けて書きましょう。

〈条件〉○進む方向は、方位を使って示すこと。また、進む方向が変わるときは、目印になる地図記号の建物の名前と進む方位を示すこと。

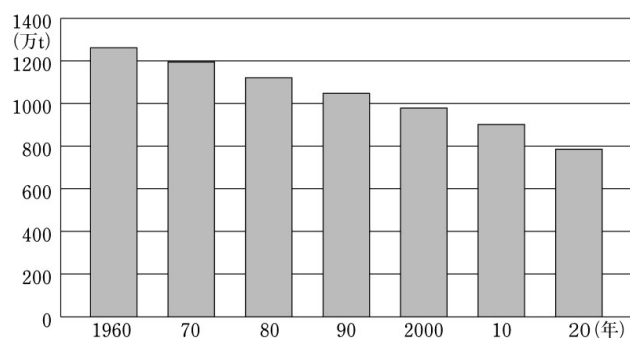
○進む距離は、地図中の縮尺を使って、百の位までのがい数で示すこと。

きよし：集めた情報をもとに、農家の人に質問したから、たくさん話を聞くことができたね。

ひでみ：特に最近「おにぎり」がブームになっているので、「おにぎり」に適した粘りの強いブランド米を生産している、という話が気になったね。

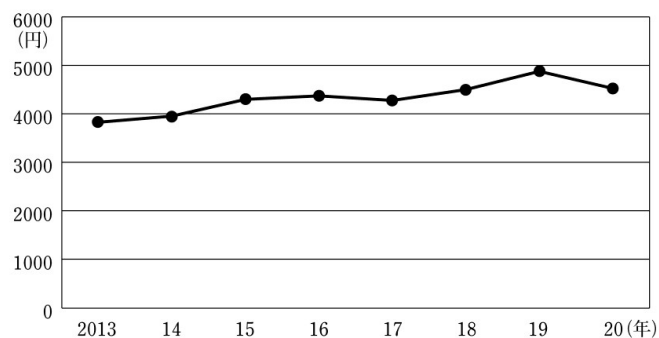
まなぶ：図書館で見つけた資料1と資料2は、農家の人言葉とつながっているようだね。

資料1 米の国内消費量の推移



(「数字でみる日本の100年」ほかより作成)

資料2 おにぎりやお弁当への支出金額の推移 (全国平均)



(総務省資料より作成)

(2) 日本人の食生活について、資料1と資料2から読み取ったことをそれぞれ書きましょう。また、資料1と資料2のそれぞれから読み取ったことをふまえて推測できる、現在の日本人の米の消費について、あなたの考えを書きましょう。

きよし：おにぎりブームの原因の1つは、小麦の価格の上昇があるようだね。

ひでみ：そんな中で、海外でも「おにぎり」がブームになっているようだね。

まなぶ：和食が平成25年にユネスコ無形文化遺産に登録されたことも、ヘルシーなイメージの後押しになっているのかな。

(3) 国内の米の消費量をふまえながら、資料3や資料4の現状から日本の米づくりは今後どのような工夫が必要でしょうか。具体的にあなたの考えを書きましょう。

資料3 新聞記事

ヘルシーなイメージの ONIGIRIが需要拡大
ホンのあるおにぎり専門店は過去約10年の間に、店舗数を約120店舗まで増やしている。欧州では日本の大手専門店の出店ラッシュが続いており、売上好調だという。フランスのパリ市内のスーパーではおにぎりのコーナーができるほどの浸透ぶりだ。(日本食糧新聞ウェブページより抜粋)

資料4 日本の米の輸出量の推移

2019年	17,381 トン
2020年	19,781 トン
2021年	22,833 トン
2022年	28,928 トン
2023年	37,186 トン

(農林水産省資料より作成)